平成24年度　中堅看護師教育の現状についてアンケート調査まとめ

公益社団法人奈良県看護協会　　業務委員会

1.調査目的

奈良県下の経験年数4年以上の中堅看護師が、どの様な教育を受けているのかを調査し、キャリアアップ支援・モチベーションの向上につなげる指標を検討し、奈良県の看護の質向上の一助とする。

2.調査対象

平成24年9月現在の奈良県の病院75施設の教育担当者、中堅看護師900名

3.調査方法

自記式調査表を各施設に送付、それぞれ記入した調査票を封筒に入れ回収し、施設毎に返送とした。

4.倫理的配慮

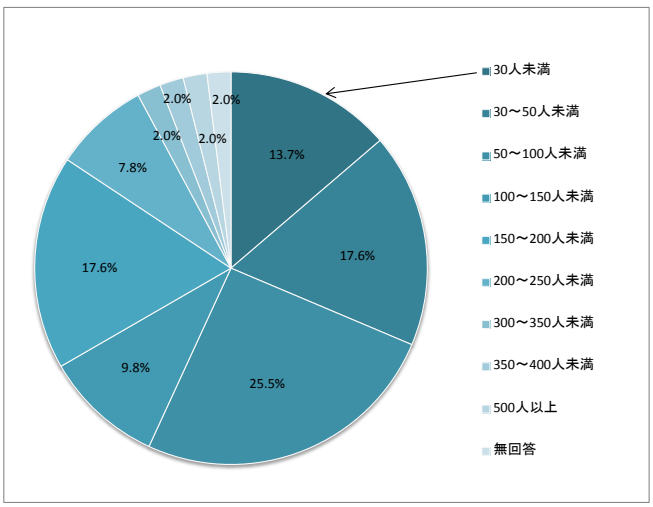
情報管理を行い、個人や施設が特定されないように配慮することを文章で説明し、回答して調査票の送付を持って、調査協力の同意を得たものとした。アンケートはデータのみを収集し、アンケート用紙はその後、シュレッダーで破棄処分とした。

5.アンケート結果

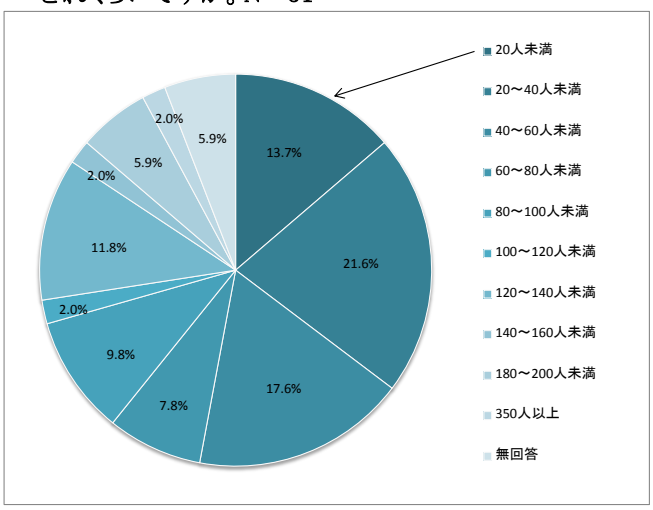
1）75施設中67施設回答 （ 回収率89.3% ）
2）教育担当者 （ 75名中51名より回答 ： 回答率68% ）
3）中堅看護師 （ 900名中779名より回答 ： 回答率86.5% ）

※教育担当者アンケート集計結果

Ⅰ.看護師人数は、どれくらいですか。N＝51

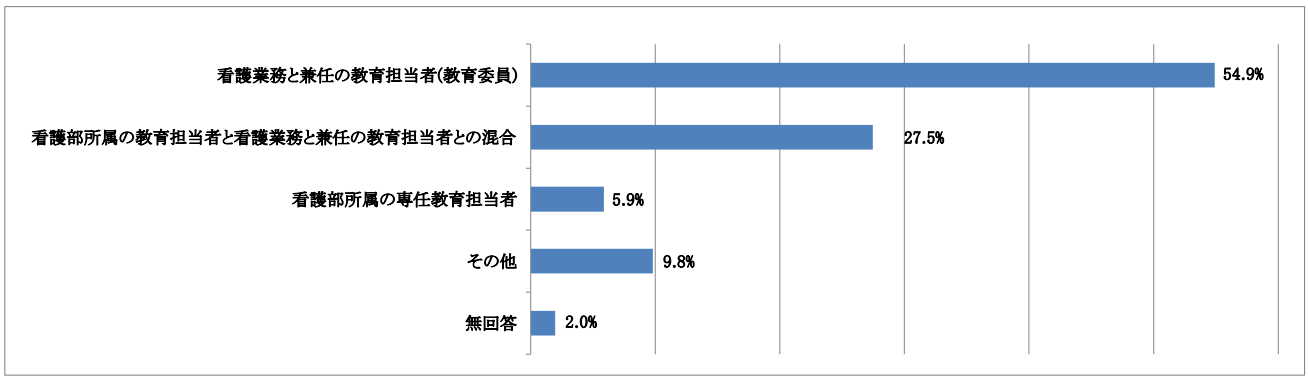


Ⅱ.経験年数4年目以上の中堅看護師の人数は、どれくらいですか。N＝51

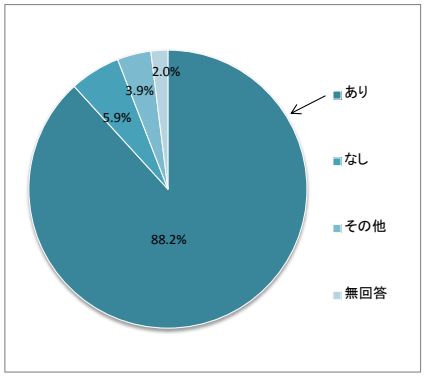


Ⅲ.看護教育全体のことを、お伺いします。

1.看護部全体の教育体制は、どうなっていますか。N＝51

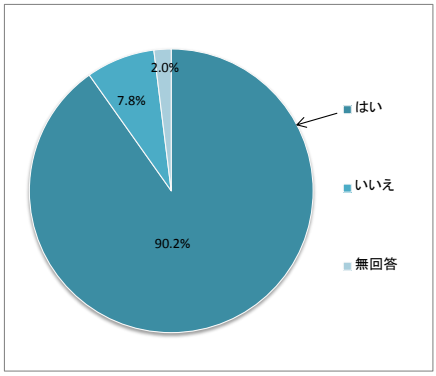


2.看護教育委員会は、存在しますか。N＝51

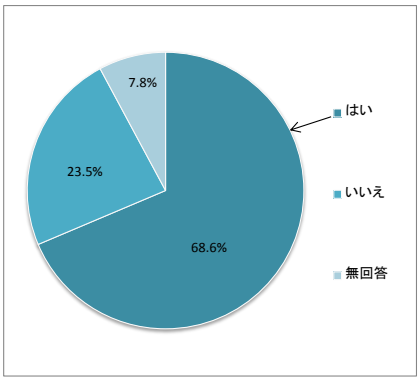


3.教育目標の設定は、されていますか。N＝51

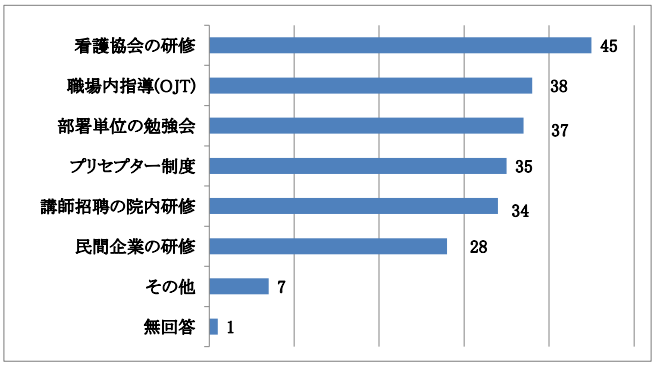
看護部



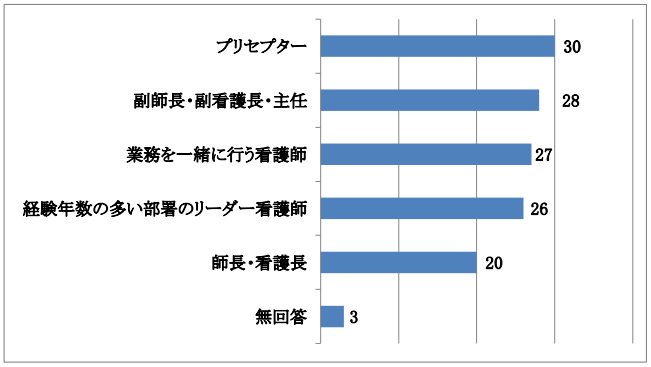
部署



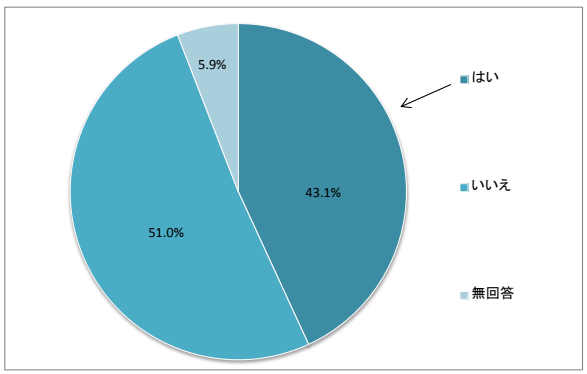
4.看護師教育は、どのような方法で実施していますか。
（複数回答可）N＝51



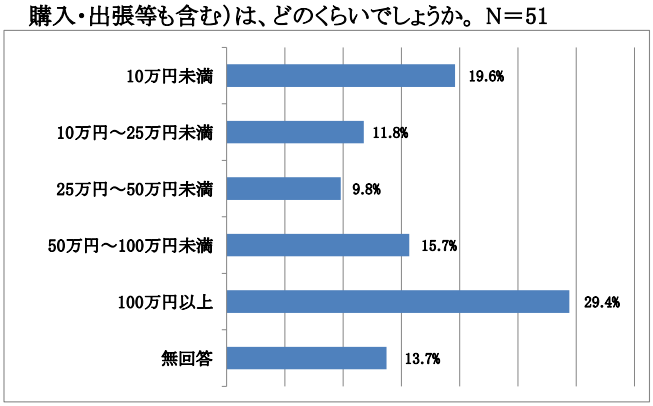
5.OJT教育の担当は、どなたが行っていますか。
（複数回答可）N＝51



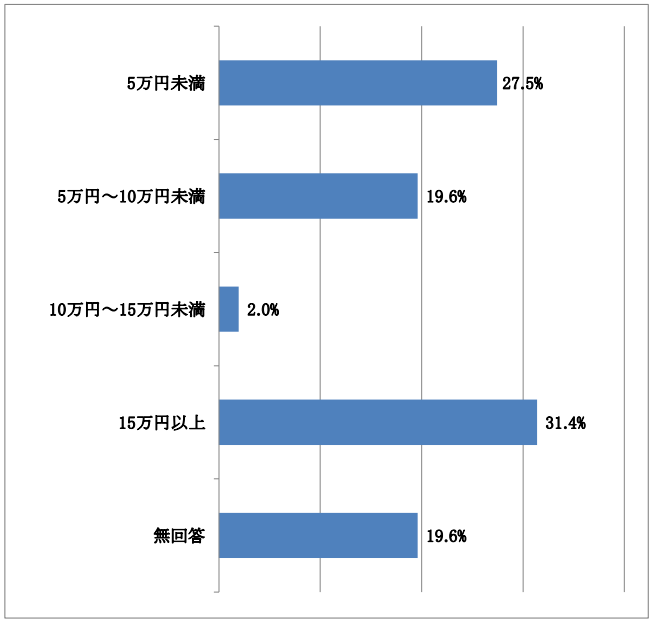
6.クリニカルラダーを取り入れていますか。N＝51



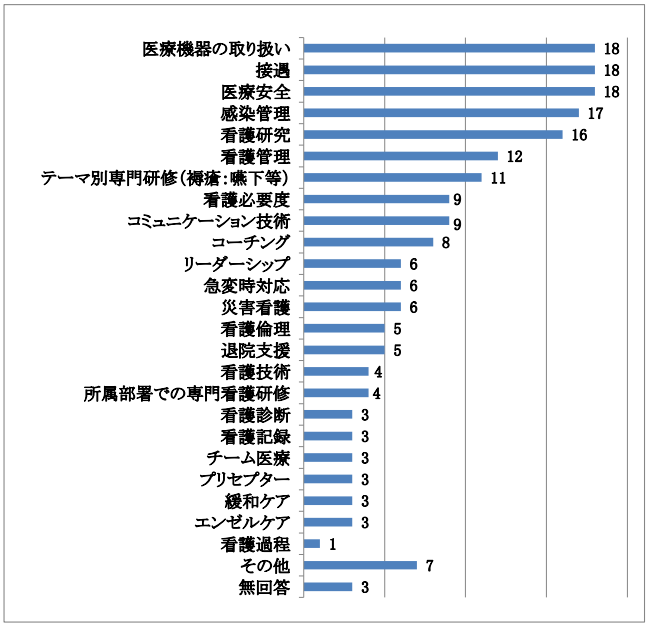
7.施設で負担してもらえる看護師教育の一年間の予算(教育機材購入・出張等も含む)は、どのくらいでしょうか。N＝51



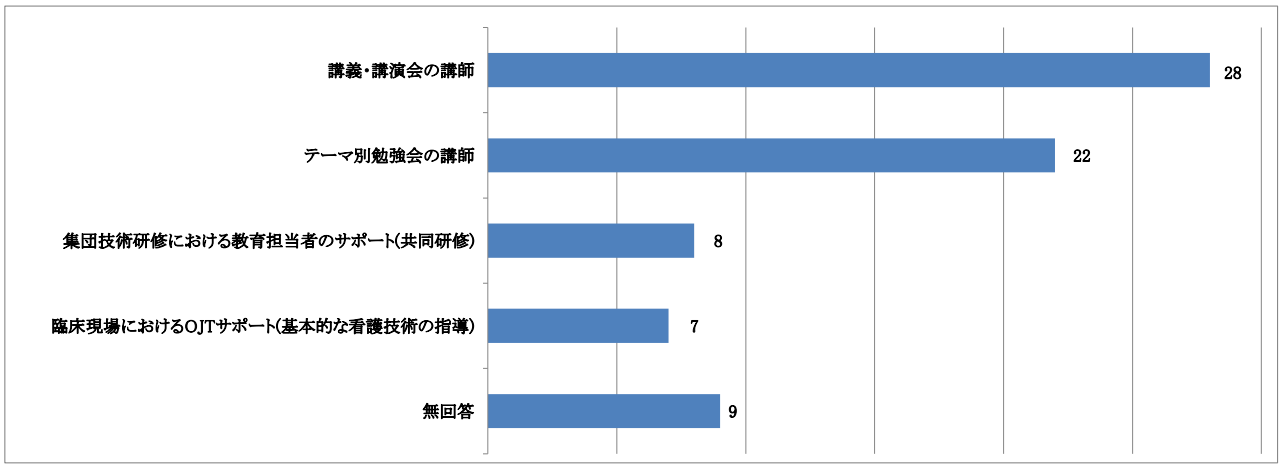
8.外部委託の一年間の院内研修費予算(施設負担分)は、どのくらいでしょうか。N＝51



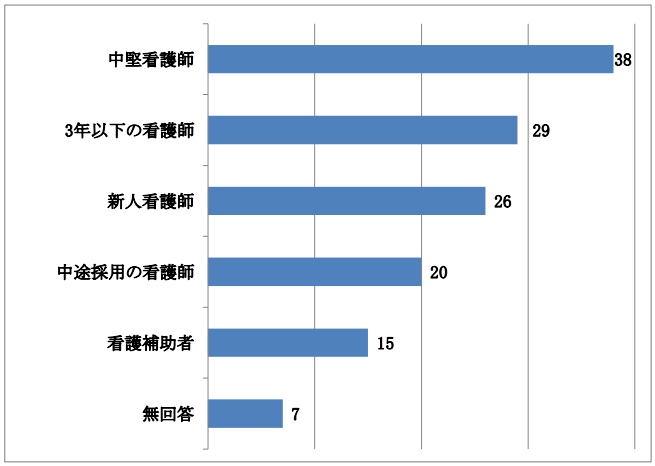
9.平成24年度の外部委託の院内研修内容は、どのようなものがありますか。（複数回答可）N＝51



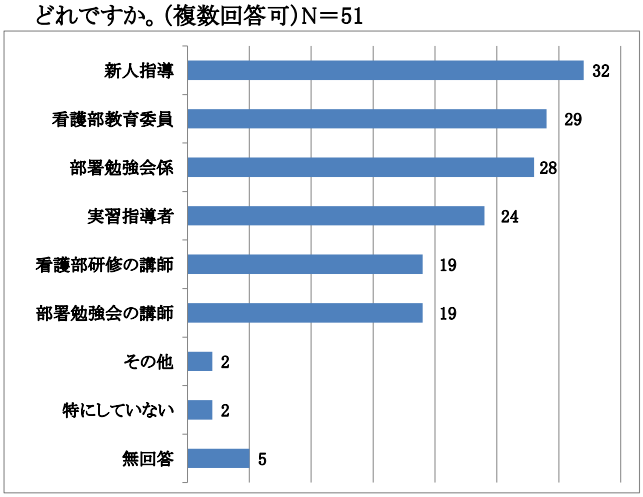
10.外部委託の院内研修導入の目的は、どのようなものですか。（複数回答可）N＝51



11.外部委託の院内研修の対象者をお答え下さい。（複数回答可）N＝51

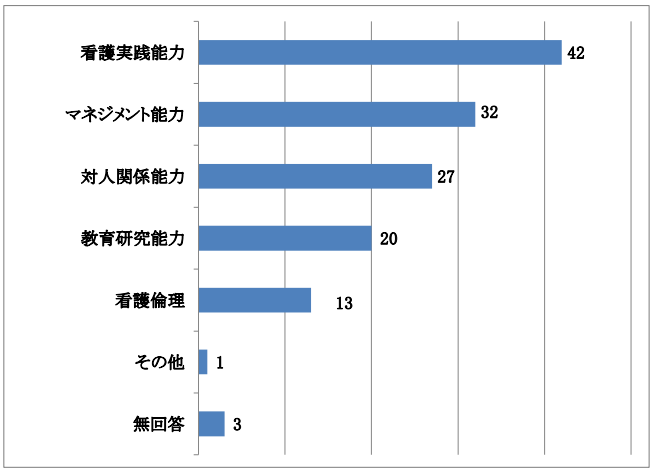


Ⅳ.院内教育で中堅看護師に担当してもらっているものは、どれですか。(複数回答可)N＝51

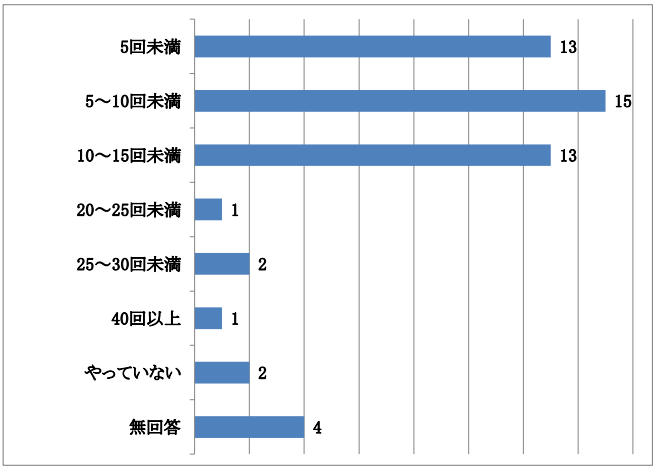


Ⅴ.中堅看護師(4年目以上)の教育について、お伺いします。

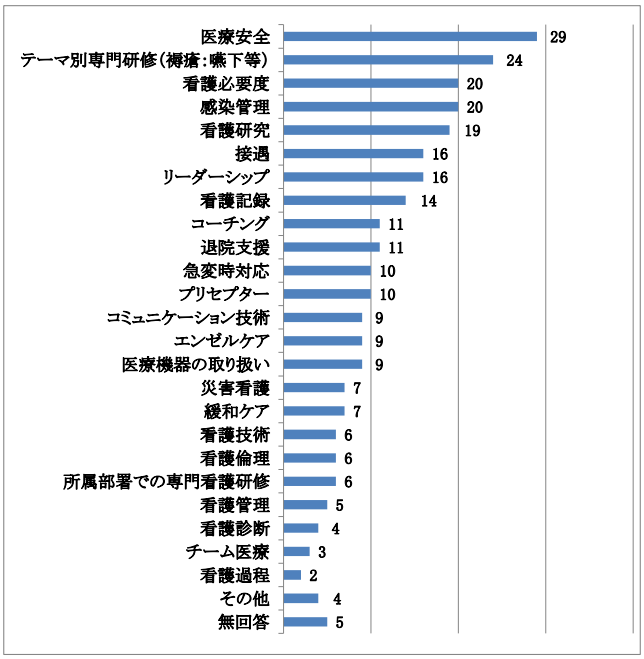
1.中堅看護師が、どのような能力を向上して欲しいですか。
上位3項目を選んで下さい。N＝51



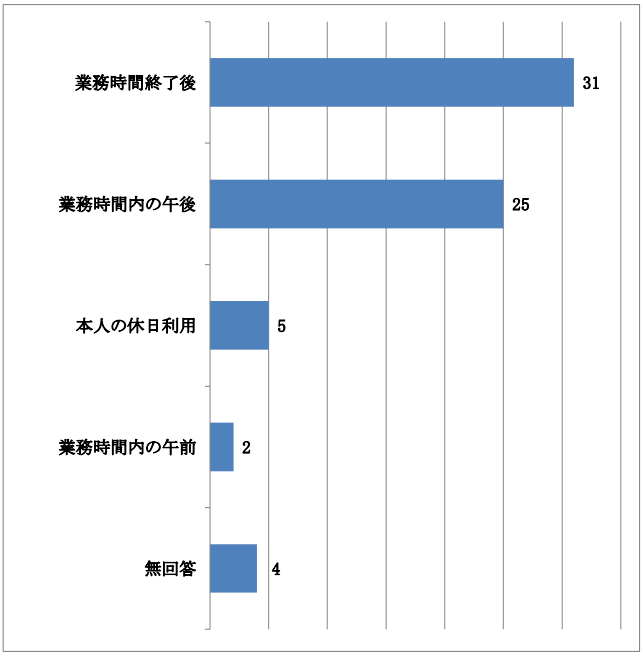
2.平成24年度中堅看護師対象の1年間の院内研修開催回数は、
どのくらいですか。N＝51



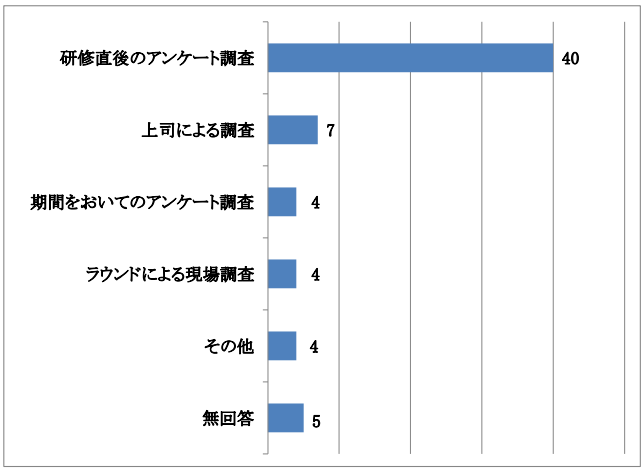
3.平成24年度は、中堅看護師に対して、どのような院内研修を
行っていますか。 (複数回答可)N＝51



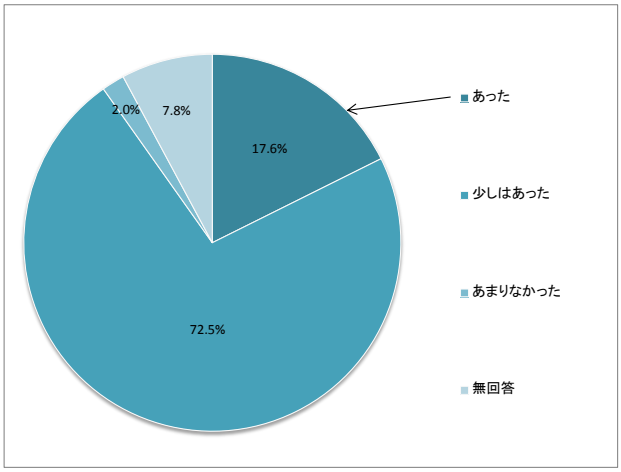
4.中堅看護師対象の院内研修は、いつ開催していますか。
(複数回答可)N＝51



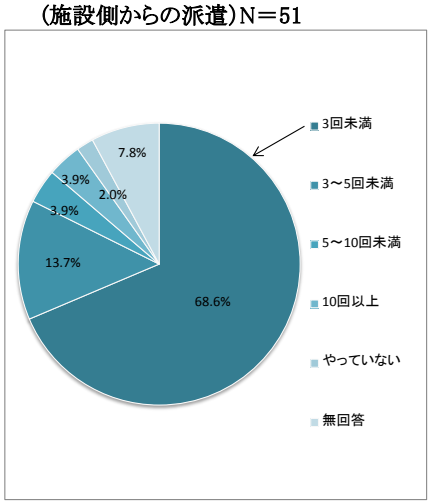
5.院内研修効果の評価を、どのように行っていますか。
(複数回答可)N＝51



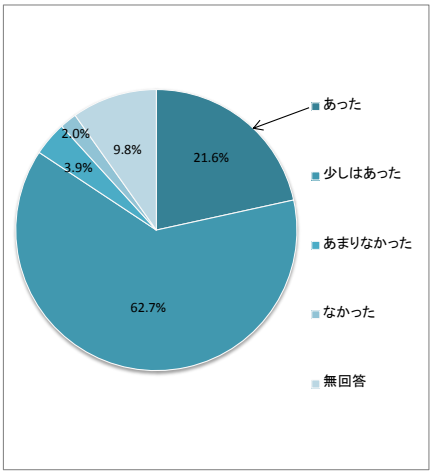
6.院内研修の効果はありましたか。N＝51



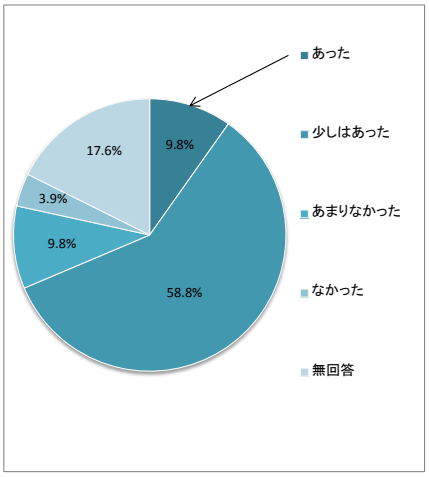
7.中堅看護師が、1年間に院外研修や学会に参加する平均回数は、どのくらいですか。
（施設側からの派遣）N＝51



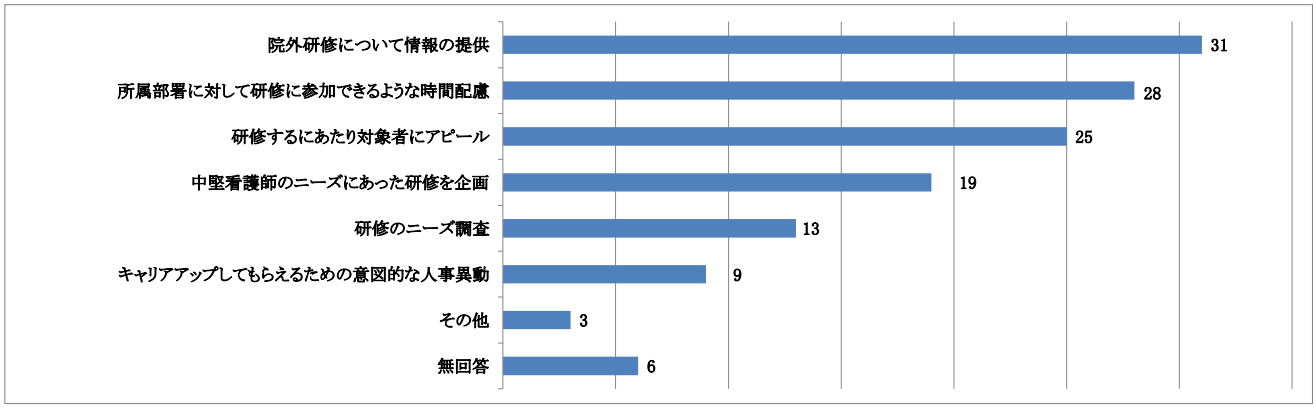
8.院外研修の効果はありましたか。N＝51



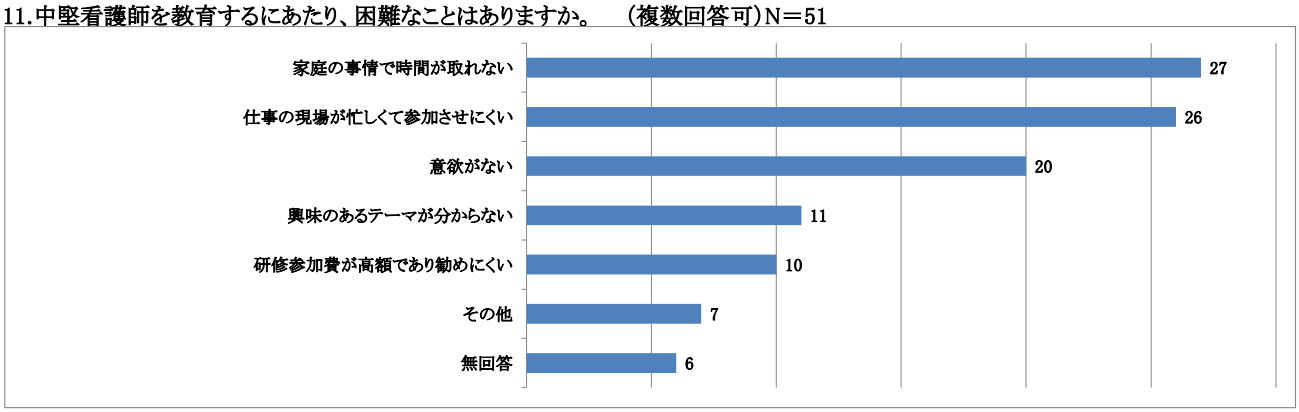
9.学会参加の効果はありましたか。
（施設側からの派遣）N＝51



10.中堅看護師のキャリア支援・現場の協力体制は、どのように行っていますか。　（複数回答可）N＝51



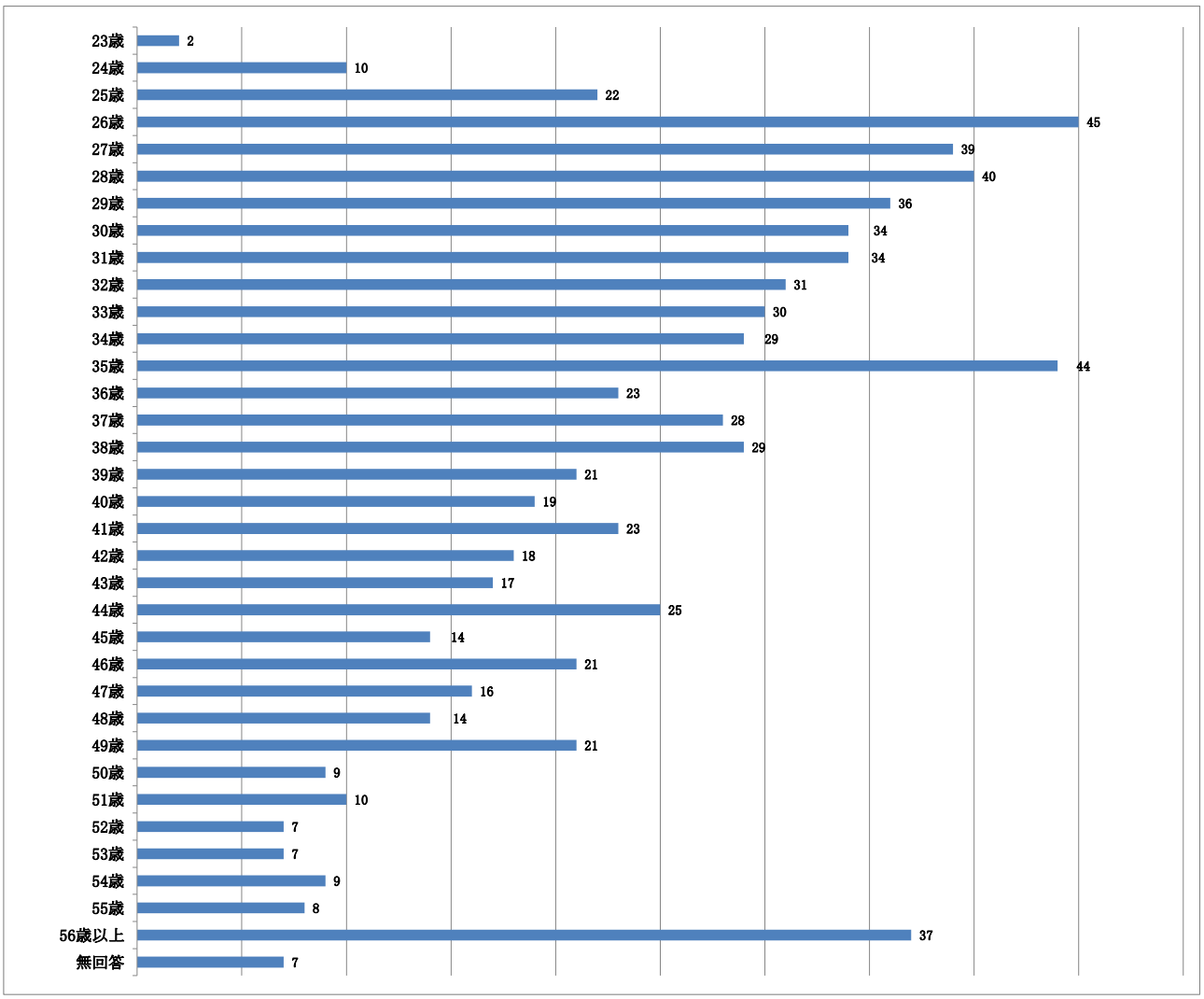
11.中堅看護師を教育するにあたり、困難なことはありますか。　（複数回答可）N＝51



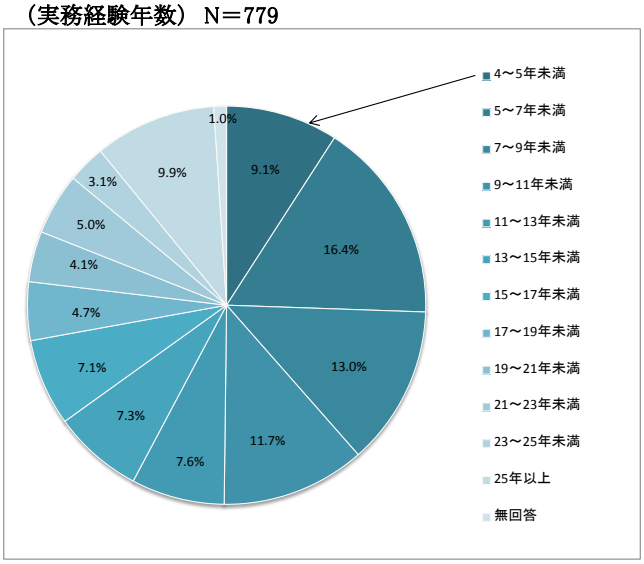
※中堅看護師アンケート集計結果

Ⅰ.あなたのことについて、お聞きします。

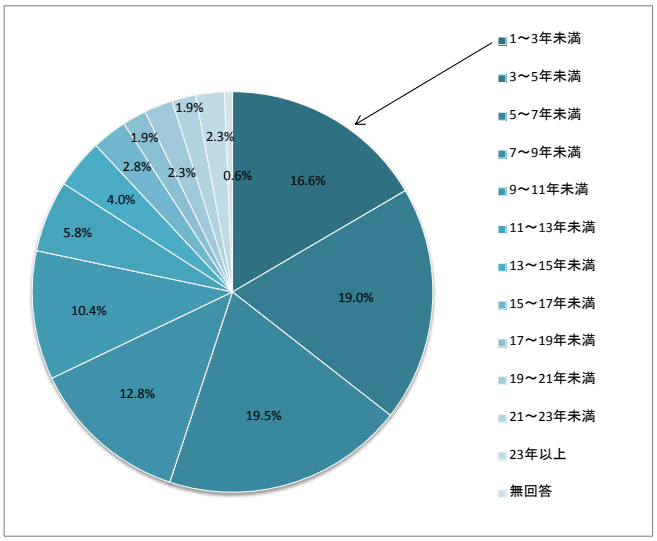
1.あなたの年齢をお答え下さい。 N＝779



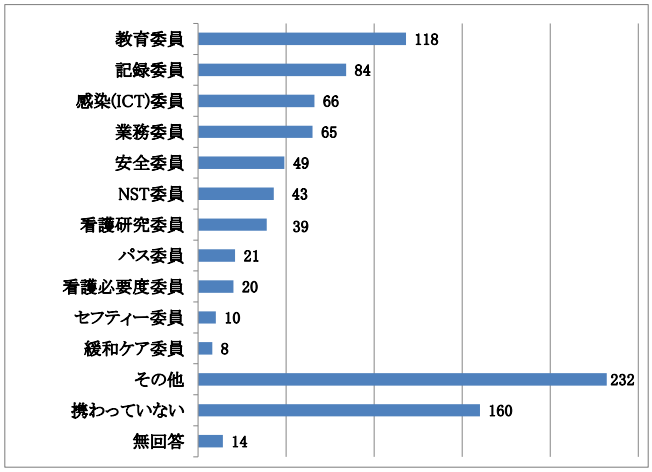
2.免許取得後の経験年数は、どれくらいですか。
（実務経験年数） N＝779



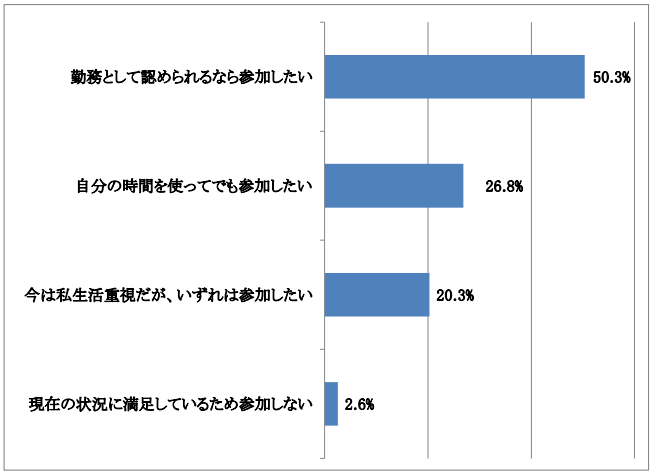
3.現在の病院での経験年数は、どれくらいですか。 N＝779



4.院内の委員会活動に携わっていますか。
（複数回答可） N＝779

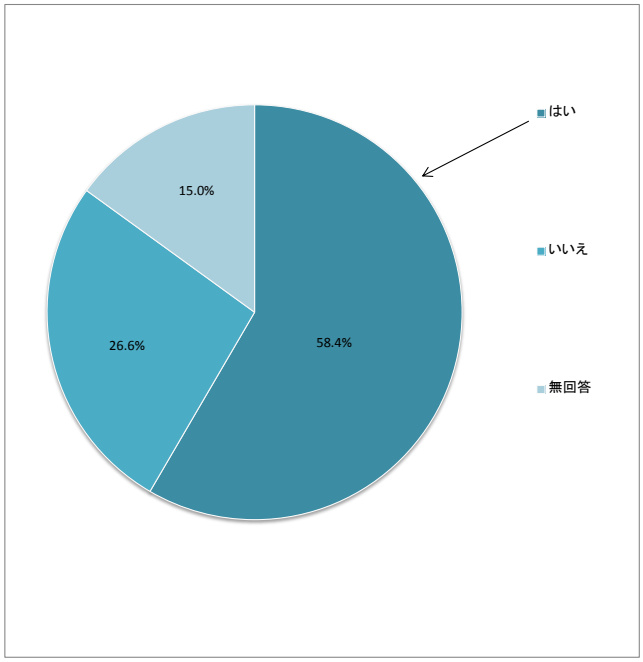


5.研修(院内・院外)への参加について、あなたの現在の状況にあてはまるものを教えてください。 N＝779

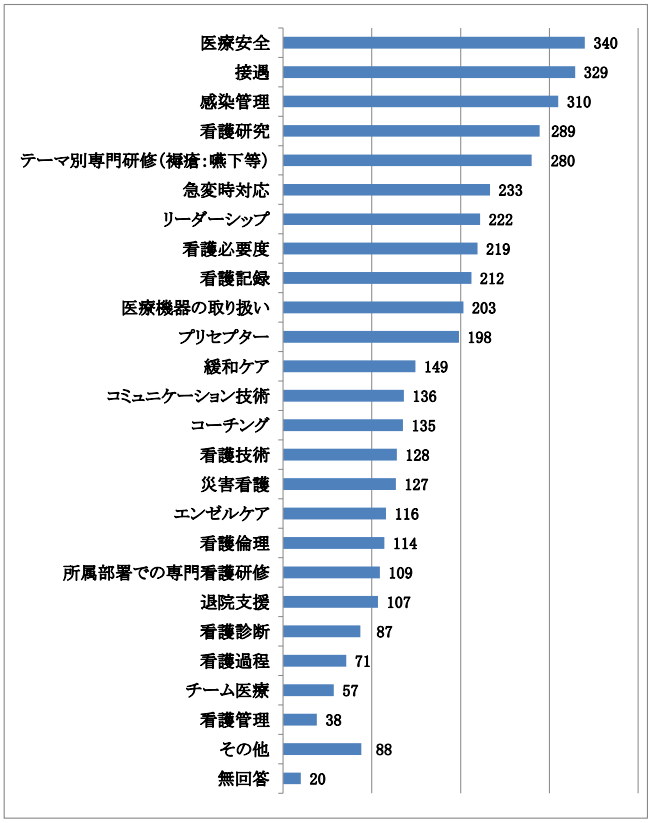


Ⅱ.院内の教育について、お聞きします。

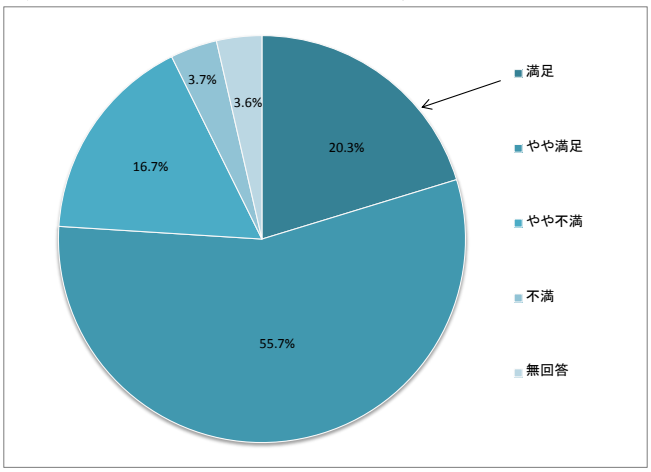
1.中堅看護師の学習ニーズを聞いてもらえますか。
N＝779



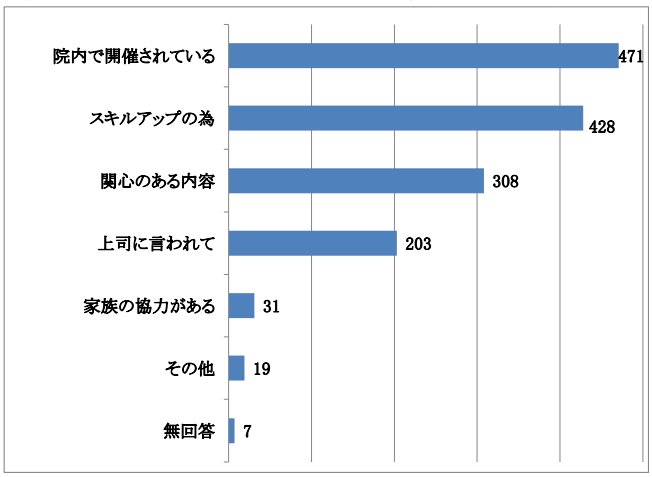
2.あなたは、どのような院内研修に参加しましたか。（複数回答可）
N＝779



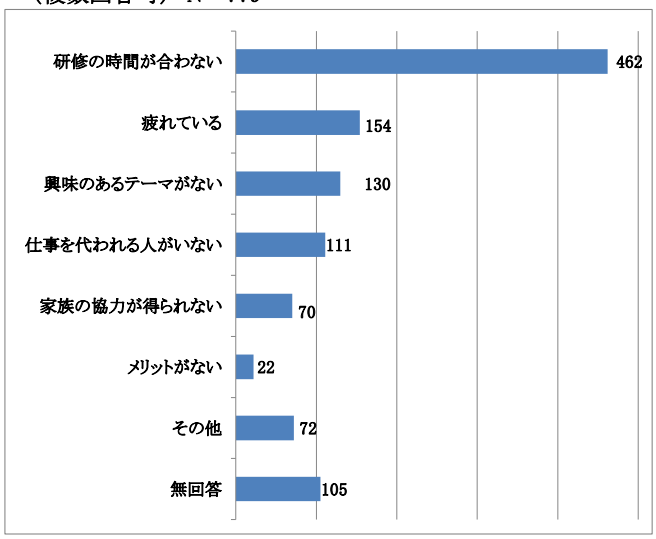
3.院内研修の内容は、満足していますか。 N＝779



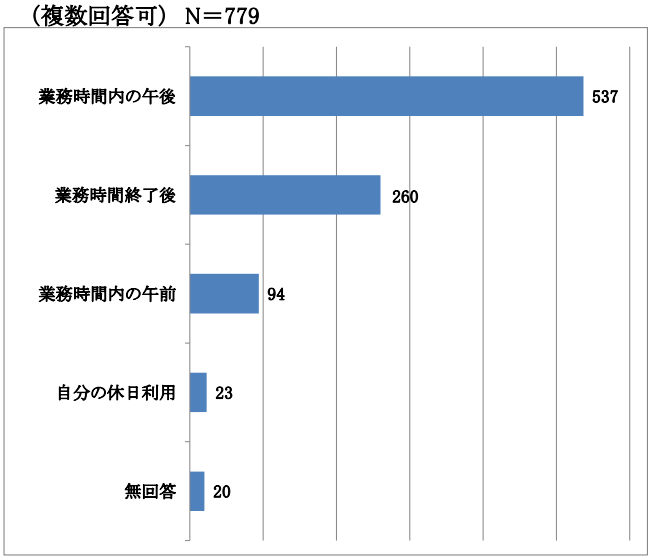
4.院内研修に参加する理由は、何ですか。（複数回答可） N＝779



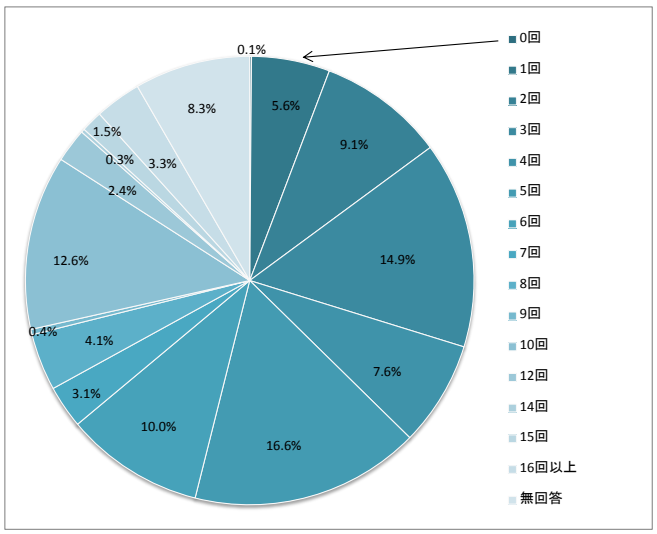
5.院内研修に参加できない理由は、何ですか。
（複数回答可） N＝779



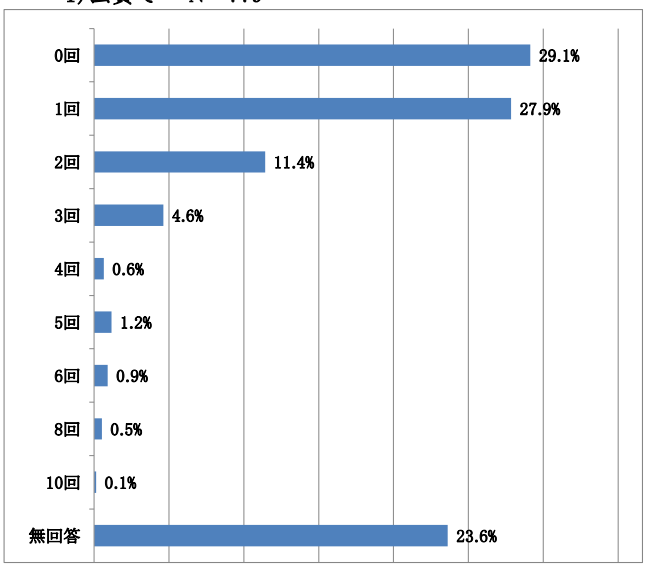
6.院内研修の希望時間はいつですか？
（複数回答可） N＝779



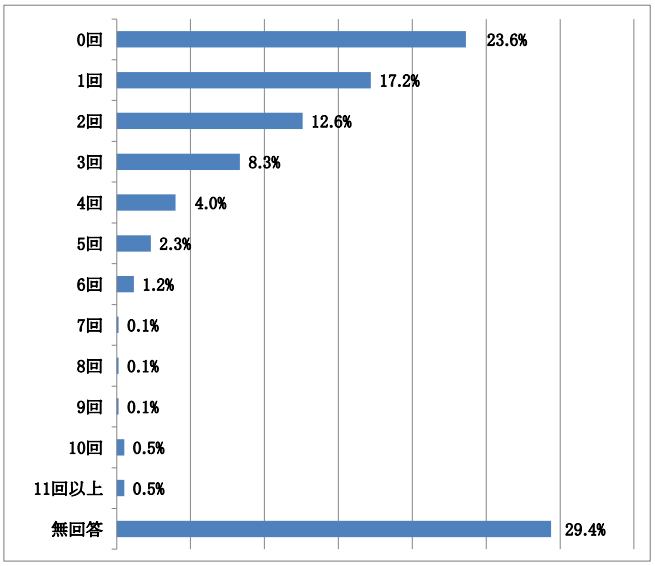
7.あなたの1年間の院内研修への参加回数を、お答え下さい。
N＝779



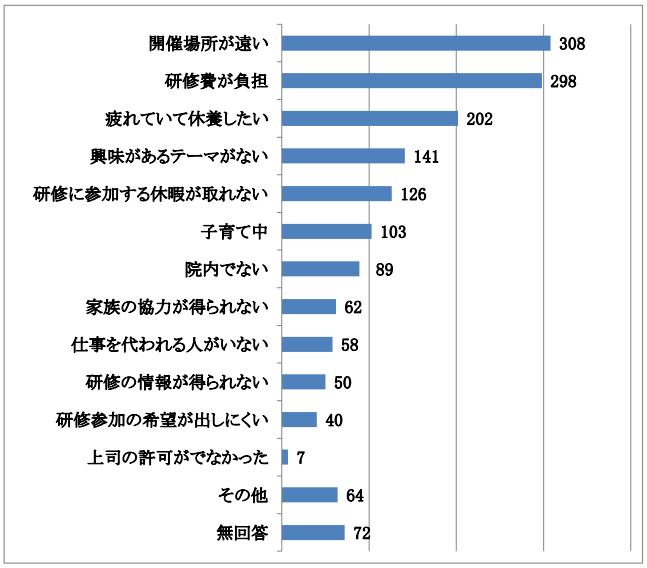
Ⅲ.院外研修について、お聞きします。
1.あなたの1年間の院外研修参加回数を、お答え下さい。
1）公費で N＝779



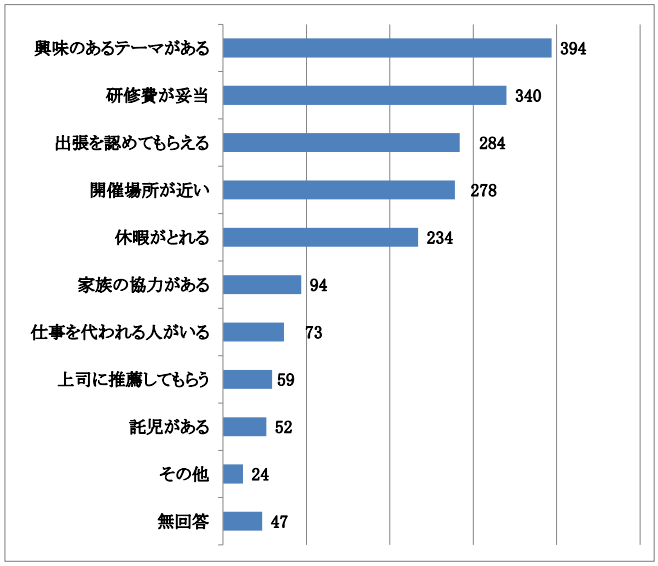
2）自費で N＝779



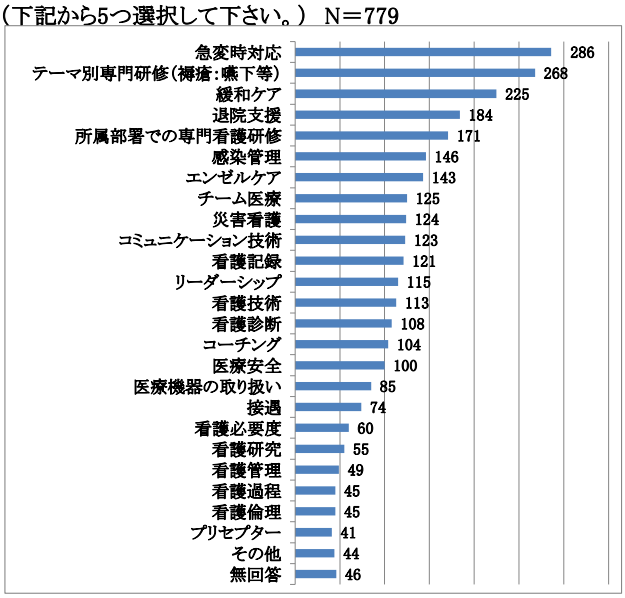
2.院外研修に参加できない理由は何ですか。（複数回答可） N＝779



3.どうしたら院外研修に参加できますか。(複数回答可)
N＝779

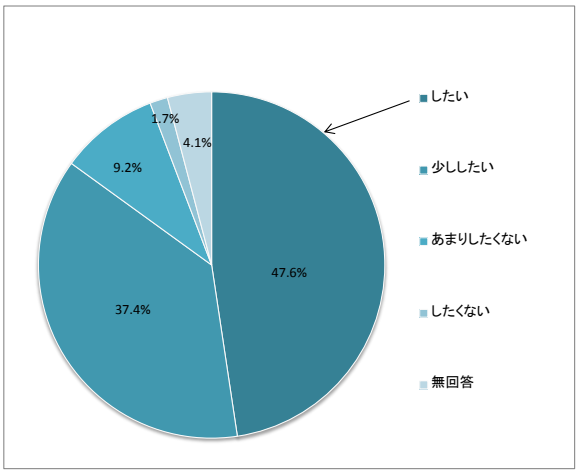


4.あなたはどのような研修を受けたいですか。
(下記から5つ選択して下さい。) N＝779

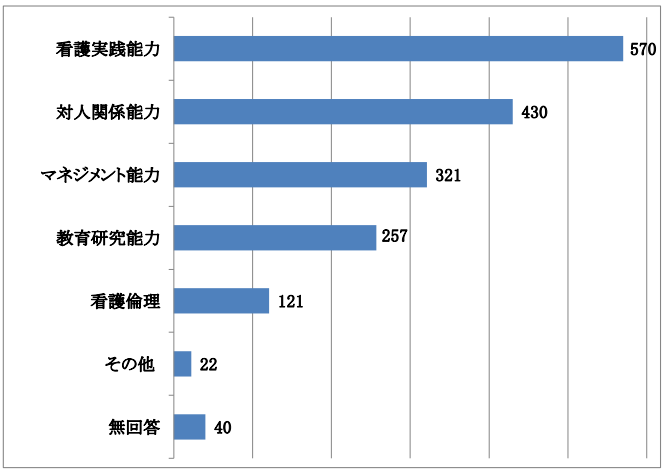


Ⅳ.キャリアアップについて、お聞きします。

1.あなたは、中堅看護師としての能力向上を図る研修の機会があれば参加したいですか。 N＝779



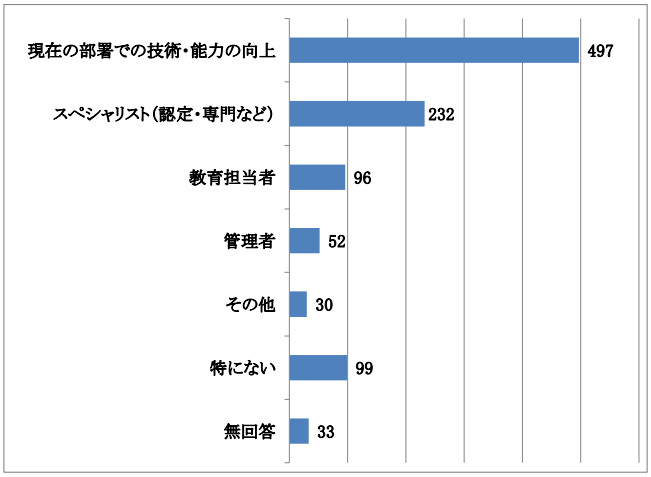
2.あなたは、どのような能力を向上したいですか。
上位3項目を選んで下さい。 N＝779



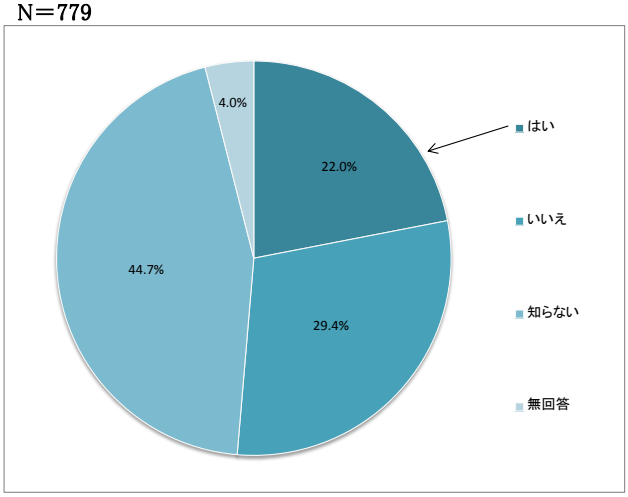
その他項目(記述)

1)看護問題のアセスメント、看護計画立案・実践、実践後の評価方法・評価基準について
2)退院支援
3)理論
4)コミュニケーション能力
5)感染管理
6)糖尿病
7)専門看護
8)今はしたくない

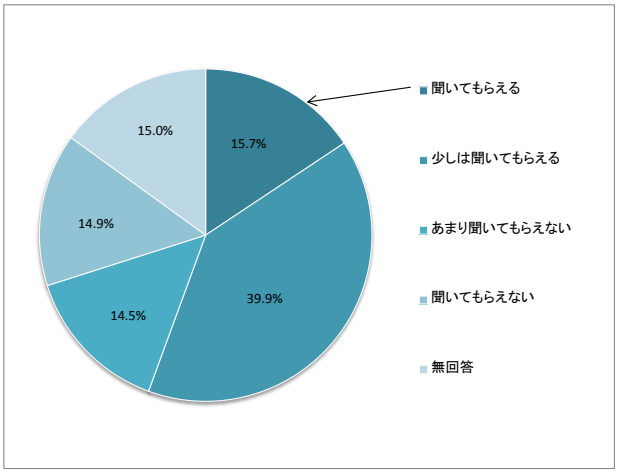
3.あなたはどのようなキャリアアップをしたいですか。下記から選択して下さい。(複数回答可) N＝779



4.キャリアアップのための相談窓口がありますか。
N＝779

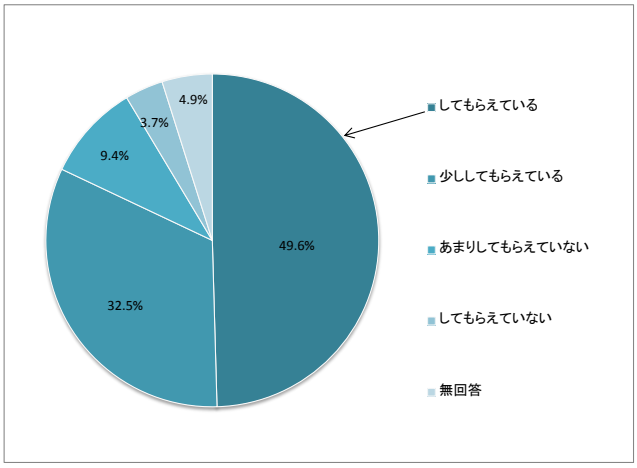


5.キャリアアップの為に、人事異動の希望を聞いてもらえますか。
N＝779

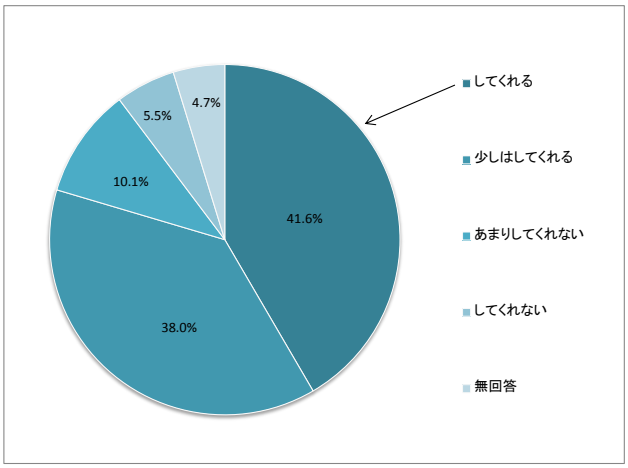


Ⅴ.直属上司のサポートについて、お聞きします。

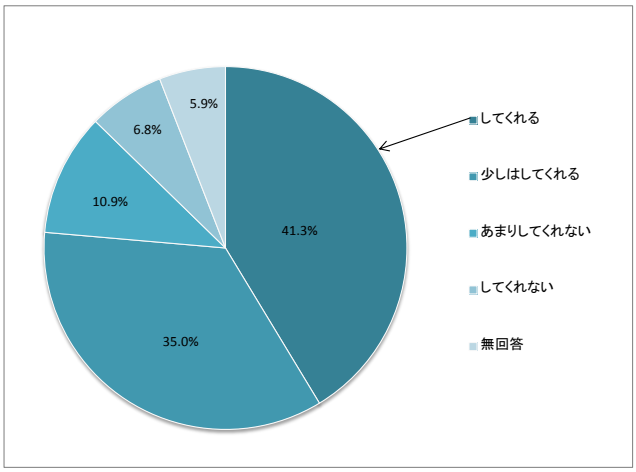
1.あなたは、所属直属の上司から、ねぎらいや承認をしてもらえていますか。 N＝779



2.上司は課題解決の為に、専門知識に関する情報を提供してくれますか。 N＝779



3.上司は、中堅看護師の研修参加を計画的にサポートしてくれますか。 N＝779



≪ まとめ ≫

奈良県の中堅看護師の質向上を図るために、75施設に中堅看護師教育の現状調査を依頼した。教育担当者51名、中堅看護師779名から回答を得た。回答した中堅看護師は、23歳～56歳以上（経験年数4年～25年以上）と幅広い年齢層であった。

中堅看護師は、看護実践能力の向上を最も望んでおり（73.2％）、続いて、対人関係能力、マネージメント能力、看護研究能力の順であった。キャリアアップについては、現在の部署での技術・能力の向上を望むものが63.8％と大半を占め、次にスペシャリスト、教育担当者、管理者と順になっていた。

施設側の院内研修は、医療安全・接遇・感染管理・看護研究・テーマ別専門研修などの参加が上位であり、研修内容に対しては、「やや満足」と答えたものが55.7％と多く、教育担当者側は、研修効果は「少しはあった」と73％が評価していた。

中堅看護師は、院内・院外研修に対して、「興味のあるテーマがあれば参加する」という回答が多く、希望している研修内容は、急変時対応・テーマ別専門研修・緩和ケア・退院支援・所属部署の専門看護など、実践的で臨床現場に直結するテーマが多かった。

中堅看護師が1年間に研修参加している回数は、院内（1～4回）・院外（0～1回）が最も多く、参加率の低さを伺わせるデータとなった。「中堅看護師としての能力向上を図る研修があれば参加したい」と85％が答えているが、院内においては、「研修時間が合わない（59.3％）」、院外においては、「開催場所が遠い（39.5％）、研修費が負担（38.3％）」等の問題があり、スキルアップ出来ない状況が伺えた。

院内研修の参加率を向上させるためには、アンケートの意見で最も希望が多かった、「業務時間内の午後（68.9％）」に研修を開催するのも一つの方法と考える。看護の中核を担う中堅看護師は、指導者やリーダーとしての役割を期待され、ケアの質の向上や人材育成を担う立場である。しかし調査結果からは、実践力に自信が持てず、技術を向上したいが、研修内容がニーズと合っていないため、スキルアップ出来ていない状況が伺える。院内教育・看護協会研修ともにテーマの検討が必要である。

また、中堅看護師教育やクリニカルラダーの基準を作成し、奈良県全体の能力向上を図る必要があると考える。そのためには、教育担当者が集い、取り組みの成功例を発表したり、相互に研修に出向くなどの企画も考えられる。さらに看護協会と各施設との連携を密にし、研修ニーズの調査や情報交換、院内講師の紹介も行い、臨床現場の看護の底上げが必要である。また、半数以上の施設が、看護業務と兼任の教育担当者の配置に留まっていた。負担を軽減し、研修の充実を図るには、責任者配置の拡大が必要である。これらのことで、研修内容の充実、研修の情報交換、及び施設同士による協力が図れ、看護の質が上がり、奈良県全体の看護の向上につながると考える。